



ふねあいのひろば

第17号



平成14年2月26日 岡山市と韓国・富川市の友好交流協定締結後、
萩原市長と元市長は未永い友情を誓い力強く握手

ごあいさつ

会長 小坂 淳夫

会員の皆様におかれましては、平素から本協議会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

岡山市の国際交流は、昭和32年にアメリカのサンノゼ市と姉妹都市の契りを結んだのを契機として、サンホセ市、プロブディフ市、洛陽市と姉妹・友好締結され、さらに「国際・福祉都市」を市政の目標に掲げ、平成14年2月26日には韓国の富川市との間で、目出たく岡山市富川市友好交流協定が締結されました。今後、富川市とは文化・学術・スポーツ等幅広い分野で交流が広がっていくことを期待しております。また、本年度は、岡山市とブルガリアのプロブディフ市が姉妹友好締結して30周年に当たり、これを記念して記念事業が計画されることとなりますが、本協議会といたしましても皆様方のご理解を賜りながら、プロブディフ市民との交流について、積極的に協働して参る所存ですのでよろしくご支援をお願いします。

このほか、平成13年11月に岡山市とアメリカのサンノゼ市との友好交流に貢献されたカリフォルニア在住のホーバー氏の妻であるベット・ホーバー女史の「ベット・ホーバー水彩画展」を岡山あいフェスティバルの事業の一環として開催し、お二人が岡山市を訪問されました。また、平成14年1月には「ブルガリア子供絵画展」を西川アイプラザを会場として開催し、これに合わせてお招きしたブルガリア大使館、エリザベス・コンスタンティノバ文化広報担当官との交流会「ブルガリアの夕べ」を本協議会を中心に催し、市民レベルの活発な交流がなされたことを皆様にご報告申し上げます。

これからの岡山は、岡山空港を核としたアジアの諸地域との交流が、今後一層拡大し、又外国人の方々にとって「住みやすい岡山」、「住みたい岡山」となるよう、地域の国際化をさらに推進する必要があります。その為には、外国人市民の皆さんのご意見も組み入れながら国際交流・地域国際化事業に取り組む必要がありますので、会員の皆さんのより一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

目次

⑨ 岡山市富川市友好交流協定締結	1	友好交流サロン	11
サンノゼとの交流	3	(1) 国際交流ふれあい講演会	
サンホセ市/ブルガリアとの交流	4	(2) 外国語講座と日本語教室	
第12回洛陽市技術研修生帰国	5	(3) ボランティア活躍記	
第9回岡山市技術研修生帰国	6	(4) 無料インターネットサービス	
第13回洛陽市技術研修生来岡/ 第10回岡山市技術研修生派遣	7	(5) 「あくら」の発行	
岡山市・洛陽市友好都市締結20周年記念事業	7	岡山市国際交流祭	14
第8回岡山市子供海外派遣研修	9	(1) オープニング・グローバルビレッジ	
岡山市・富川市職員相互派遣	10	(2) 韓国舞踊公演	
		(3) 子供のための国際理解フォーラム	
		(4) ベット・ホーバー水彩画展	
		(5) 外国人ホームステイと交流会	
		(6) 国際親善新春ボウリング大会	
		(7) ブルガリア子供絵画展	
		ふれあいトピックス	16
		ホットミニ情報	17
		募集中	17

祝 岡山市富川市友好交流協定締結

心通い合う関係に!!

岡山市と大韓民国富川市は、1992年以来、民団の方々の先導、両市にゆかりの深い桃にちなんだ「おかやま桃太郎まつり」と「ボックスゴル芸術祭」などの機会を通じて10年来、着実に友好を深め平成13年5月4日には、萩原市長が富川市を訪問し、友好交流締結の仮調印が行われ、平成14年2月25日～27日には、「富川市代表団」一行14名を岡山市へ招待し、2月26日には、岡山市議会本会議場において両市民の末永い友情と協力を誓い友好交流協定が締結されました。一行は、滞在中、記念植樹式、記念レセプション等、様々な交流行事に参加され、岡山市民との交流を深めました。今後は、スポーツ、文化・芸術、教育、観光などの様々な交流を通して揺るぎない友情が築かれることと期待されております。

富川市の概況 (2000.12.31現在)

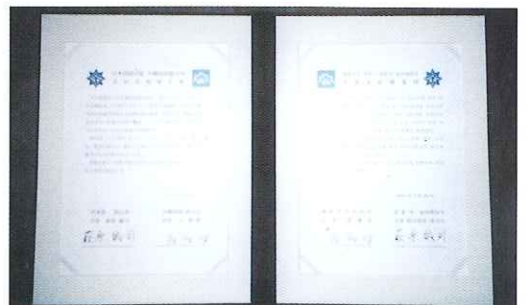
- ・人口 780,003人(人口密度は、全国で2位)
(男:392,516、女:383,299、外国人:4,188)
- ・面積 53.44 km²
- ・所属 大韓民国 京畿道(きょんぎど)
- ・気候 夏は、高温多湿だが、日本よりは湿気が少ない。
夏の平均気温は、25～26℃。※年平均気温12.7℃
日本に似て、6月には梅雨がある。
- ・産業 古くは桃などの果樹栽培、1970年代後半以降、
産業団地を整備し、商工業が急速に発展。
新都市開発プランの目玉として、文化、映像、
アニメなど知識・情報産業の育成を図っている。
- ・その他 ボックスゴル(桃の里)芸術祭、富川国際ファンタスティック映画祭(PiFan)等の大きな催し物を開催。

富川市の略史

高句麗時代には主夫吐、統一新羅時代には長堤、高麗時代には樹州と呼ばれ、1914年、初めて「富川」という行政区域の名称が生じました。そして、1973年、富川市に昇格しました。



岡山市議会本会議場で行った調印式関係者の
ハンド・イン・ハンド



友好交流協定書



キョンギド
大韓民国・京畿道

富川市(プチョン)市長来岡



本庁3階第3会議室で行った富川市訪問団の岡山市長表敬



新しくオープンした分庁舎前で韓国の国花である 槿ひくげを記念植樹



友好交流のあゆみ

岡山富川両市は、民団の方々の先導、そして両市にゆかりの深い桃にちなんだおかやま桃太郎まつりとボックサゴル芸術祭などの機会をとらえての市議会、友好団体の交流の積み重ねを経て、友好の機運が大きく高まる中、両市市議会日韓・韓日議員連盟の姉妹結縁締結や、市長の相互訪問、友好交流締結の仮調印、職員相互派遣、青少年交流と、年を追うごとに、次に見るように交流の幅を広げ、厚みを増し、揺るぎない友好関係を築いてきました。

- 1992年10月 富川市議会議員一行29名が岡山市議会を訪問
- 1993年4月 ミス慶尚南道とミス富川一行16名が桃太郎まつりに参加
- 1993年10月 富川市の朴孝順舞踊団10名が岡山あいフェスティバルで韓国古典民族舞踊を紹介
- 1994年4月 富川市長、富川市議会議員、ミス富川等15名が桃太郎まつりに参加
- 1994年4月 岡山市議会議員3名が富川市のボックサゴル芸術祭(桃の里芸術祭)に参加
- 1994年10月 岡山市議会議員等8名が富川市を訪問
- 1995年4月 ミス富川、富川舞踊協会のメンバーが桃太郎まつりに参加
- 1996年4月 ミス富川、富川市韓日親善協会会長等12名が桃太郎まつりに参加
- 1996年7月 岡山市議会日韓議員連盟会長等9名が富川市を訪問
- 1997年4月 富川市韓日親善協会会長等12名が桃太郎まつりに参加
- 1998年4月 富川市韓日親善協会会長等10名が桃太郎まつりに参加
- 1998年8月 岡山市議会日韓議員連盟会長等11名が富川市を訪問
- 1998年8月 富川市議会韓日議員連盟と岡山市議会日韓議員連盟が友好結縁の仮調印
- 1999年4月 ミス富川、富川市韓日親善協会会長等9名が桃太郎まつりに参加
- 1999年9月 富川市議会韓日議員連盟一行が来岡し、岡山市議会日韓議員連盟との姉妹結縁の締結
- 1999年11月 萩原市長が富川市を訪問
- 2000年4月 ミス富川、富川市韓日親善協会会長等9名が桃太郎まつりに参加
- 2000年4月 富川市代表団7名(団長/元恵榮市長)が来岡
- 2000年4月 萩原市長がボックサゴル芸術祭に参加
- 2000年7月 岡山市子供海外派遣事業で中学生14名を富川市へ派遣
- 2000年11月 市職員の相互派遣(各1名、職員相互派遣協定)
- 2001年5月 岡山市富川市友好交流締結に仮調印
- 2001年7月 岡山市子供海外派遣事業で中学生14名を富川市へ派遣
- 2001年8月 富川市韓日親善協会会長等11名がおかやま桃太郎まつりを視察する
- 2001年11月 市職員の相互派遣(各1名)
- 2001年11月 富川市青少年サッカー交流訪問団34名が来岡し、親善試合



忙しいスケジュールの中、出石小学校で児童と一緒に給食をとる富川市市長



友好交流協定調印記念レセプションでの鏡開き

サンノゼ市から専門家受入れ

サンノゼ市との交流

サンノゼ市姉妹交流団体
パシフィックネイバーズ 前委員長来岡

岡山市とサンノゼ市が実施している専門家相互派遣事業により、今回、サンノゼ市から災害救助分野の専門家としてスー・サカイ・マクルーアー氏が来岡され、消防航空隊の視察や防災機関での研修を行いました。

平成13年5月21日から25日まで、パシフィックネイバーズの岡山委員会前委員長三浦和子氏が岡山市長を表敬訪問し、あわせて姉妹都市交流事業について意見交換されました。

氏名 Sue Sakai McClure
(スー・サカイ・マクルーアー)
専門分野 消防
職業 サンノゼ市消防局 消防監
受入期間 平成13年4月13日～4月21日



岡山市消防局を訪問するマクルーアー氏



萩原岡山市長と意見交換する三浦氏

ベット・ホーバー水彩画展 <岡山市国際交流祭>

平成13年10月30日～11月4日、岡山市とサンノゼ市の姉妹都市交流締結に貢献され、岡山サンノゼ交換学生制度の創始者でもあるウェード・ホーバー氏の妻であり、夫とともに長年両市の交流に尽力してこられたベット・ホーバー女史の水彩画展が、岡山市国際交流祭の事業の一環として開かれました。また、11月3日には「ホーバー夫妻を囲む会」が行われ、来場者の方と交流を深めました。



◀会場入口で微笑するホーバー氏夫妻



絵画に見入る来場者▶

「ホーバー夫妻を囲む会」でお二人と歓談する参加者▶



◀水彩画展会場で開催日初日に行われたホーバー女史主催のWelcome Reception



サンホセ市 との 交流

★コスタリカ共和国カナル4テレビ局 取材のため来岡

外務省の招待により、コスタリカ共和国カナル4テレビ局スタッフ3名が同テレビ局の主婦向け情報番組取材のため来日。その中で、同国サンホセ市と姉妹都市関係にある岡山市の取材をしました。

また取材には岡山市とサンホセ市の交流に永年携わってきた北條勝子氏がディレクターとして同行して来られました。

(平成13年5月20日～21日)



岡山市内で取材をするカナル4テレビ局の取材班

ブルガリア との 交流

★駐日ブルガリア共和国大使館 文化広報担当官来岡 〈岡山市国際交流祭〉

岡山市国際交流祭の一環である「ブルガリア子供絵画展」開催に際し、平成14年1月18日、駐日ブルガリア共和国大使館文化広報担当官のエリザベス・コンスタンティノバ女史が来岡し、岡山市長を表敬訪問されました。またこれにあわせて本協議会が中心となって、岡山プロブディフ交流協会、バラの会と協働して開催しました交流会「ブルガリアの夕べ」では、「私の国 ブルガリア」と題した講演を行っていただきました。



講演中のコンスタンティノバ女史



来場者の方たちと交流を深めました

第12回 洛陽市技術研修生 帰国

陳 波さんと劉 躍敏さんは平成12年10月に、黄金亮さんは平成12年12月に来日し、岡山理科大学で研修を受けていましたが一年間の研修期間を終え、平成13年10月2日に全員無事帰国されました。

劉 躍 敏 (りゅう やくびん)

(岡山理科大学 工学部機械工学科)

洛陽市と岡山市の友好都市締結20周年にあたる今年、第12回洛陽市技術研修生の一人となれたことをとても光栄にまた誇りに感じています。

光陰矢のごとし、瞬間に技術研修生の生活は過ぎていきましたが、この一年の日本での生活は、私の長い長い一生においては、ほんの短い期間ではありますが、私の記憶の中では生涯忘れ難いものとなりました。

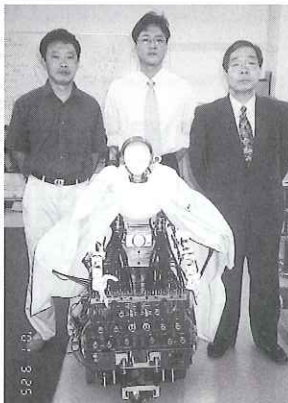
岡山は美しい場所です。山紫水明、空気はすがすがしく、道は整理され、交通も秩序正しく、一年四季を通じて花が咲いています。清く透き通った旭川の水、優雅で趣のある後樂園、威厳があり凛々しくそびえる岡山城、岡山はまるで大きな花園のように人を惹きつけて離さない町でした。

この一年間、生活面では、岡山市国際課の皆さんの行き届いたご配慮をいただき、ここに深く感謝の意を表します。また研究においては、岡山理科大学工学部の逢坂先生と藤本先生の精神誠意のご指導とご助力をいただき、先生方の深く広い知識と研究に対する姿勢に大変感動させられました。

西川アイプラザや国際交流センターでの日本語学習を通して、私の日本語能力を引き上げていただき、今日本の友人と簡単ながら交流を行うことができるようになりました。これは私にとって、日本文化を更によく理解し、またより多くの日本の友人を作ることに大いなる助けとなりました。

一年の技術研修生活は、緊張することもあったけれども、楽しいこともあり、帰国後は続けて日本語をしっかり勉強し、中日友好関係の促進のために、微力ながら応分の力を尽くし、中日両国子々孫々永遠に友好であり続けますようお願いいたします。

左が劉さん



黄 金 亮 (こう きんりょう)

(岡山理科大学 工学部機械工学科)

紅葉の十月、空高く空気もすがすがしい秋。金木犀の香り漂う中、まもなく帰国を迎えます。

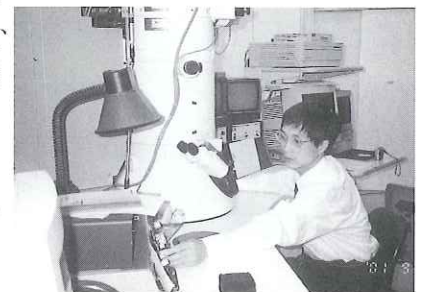
帰郷の気持ちはやはりいいものですが、いよいよ出立の時が来てしまい、いざ岡山を離れると思うと……、この美しい町、一年近くつきあってきた友人たち、いつも明るい笑顔で接して下さった国際課の皆さん、根気よく私に日本語をご指導いただいた福本先生……と大変名残惜しく、とても辛く感じます。

私は去る11月、第12回洛陽市技術研修生として中国洛陽から岡山に参りました。岡山市のきれいな町並み、さわやかな空気、過ごしやすい気候、秩序正しい交通、周囲には緑豊かな山々を擁し、美しい後樂園と雄大な岡山城、雄大で壮観な瀬戸大橋、人々を惹きつける瀬戸内海の景色、あらゆるおいしさを合わせ持った日本料理など、私はこの町をとても好きになりました。

11ヶ月の間、岡山市は多く様々なイベントを用意していただきました。それらのイベントは、私たちに日本文化や習慣などの方面に対する理解を深めさせてくれました。また岡山市民一般の環境意識やマナーや教養の高さには深い印象を残しました。岡山理科大学での研修期間中は、高い経歴をお持ちの教授である助台栄一博士に従って、先生の慎み深い科学研究への姿勢、勤勉実直な精神、広く深い知識はまた私にとって益すること大であり、生涯忘れ得ません。

帰国後、私は岡山市民の洛陽市民に対する友好の念、また岡山市のすばらしい印象を持ち帰り、岡山・洛陽両市の友好交流の更なる促進のため、私なりの貢献をしていきたいと思っています。

黄さん



陳 波 (ちん は)

(岡山理科大学 工学部機械工学科)

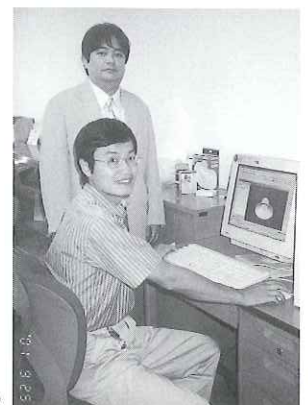
一年、豊かに充実した楽しい研修生活が終わりました。岡山市は美しい環境、新鮮な空気、便利な交通、高度な生活水準、また熱く友好的な市民、これらすべて私にとって忘れ難いすばらしい印象として残っています。

一年間、市役所国際課のご助力の下、岡山理科大学工学部田中雅次先生のご指導により、機械製品の3Dデザイン、また田中先生の機械製品のデザイン方法の研究分野について勉強と研究を行いました。田中先生の先進的な製品デザイン知識、勤勉な勤務に対する精神は深く心に残りました。多くの知識を得ることができ、且つ田中先生の親切なご指導、楽しい研究環境、日本での一年の研修生活は満ち足りたものでした。併せて日本の大学教育についても深く理解することができました。これは今後、私の学生に対する仕事に大いに役立つものです。

西川アイプラザ友好交流サロン、岡山国際交流センターの日本語学習では、私の日本語能力を向上させることができました。また日本文化紹介講座や国際課での県外視察をはじめ、個人的に訪問した東京、大阪、京都、広島等、日本の風土や人情、名所旧跡や日本の歴史文化に対し一定の理解を得ることができました。岡山市政府、国際課、県国際交流協会、岡山理科大学では日本での良い生活研究環境を提供して下さり、ここに心から感謝の意を表します。

中日両国は社会制度、価値観等においては多くの違いがありますが、同時に東方文化を背景に似通った点も多く、帰国後は、中日両国人民の友好交流、文化交流の促進、洛陽市と岡山市の友好交流促進に私なりの努力をしていきたいと思っています。

手前が陳さん



第9回 岡山市技術研修生 帰国

洛陽市で平成13年4月から一年間の中国語研修を終え、元気に帰国された第9回岡山市技術研修生の3名の方に、洛陽での生活や交流の思い出を綴っていただきました。

洛陽での思い出

岸本京子

洛陽には夕日がよく似合う。大きく丸く力強く輝くその光はこの町をすっかり包み込んでしまう。まだ言葉を持たない、来たばかりの私はそんなふう感じていたと思う。

中国の人と人との結び付きは強く、そこには昔あったなあ懐かしくなるような素朴なやさしさがあふれている。

私もこの1年間にいろいろな人に出会った。心温まる出会いもあり、うれしい再会もあり、本当に多くの人に支えられてここまで来た。

自信を失ってうつむいている私に、真っ直ぐ目を見つめ「強くなれ。」と言ってくれた先生。

何にも負けないその強さを私はずっと忘れないと思う。

一緒に互いの言葉を学び合った友達。ただ自然に話し、自然に打ち解けていった。彼女と会って話すことがいつの間にか私の楽しみになっていた。

また体の調子を崩した私を心配して見舞いに来てくださった方々。次々とやってくる励ましの中で、気が減る暇もなかったように思う。

そして、友好都市岡山から来たのと知ると、「友達じゃないか、遠慮するなよ。」と言って一緒に店を探し回ってくれたタクシー運転手。温かい気持ちになったことを覚えている。

今はまだ起こった出来事の1つ1つがあまりにも鮮明でうまく言葉にできない。私とここで出会った人々、また中国とのつながりはこの1年では終わらない。これからもずっと続いていくと思う。そして、将来これらの小さな出会いが大きな力となり、日中両国の友好に役立つことを信じている。

帰国してからは、今度は私が岡山に来た外国人の小さな支えになれるよう努めていきたい。



真ん中が岸本さん

日中友好の最大の壁

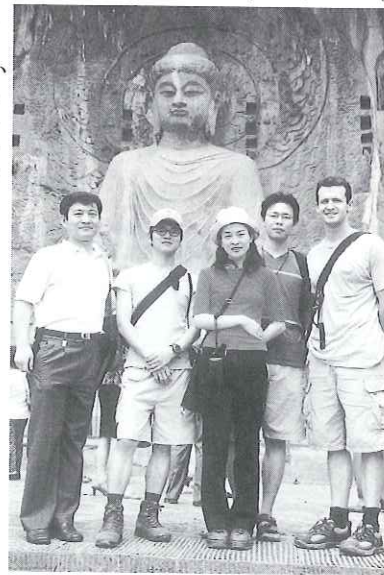
渡邊伸也

私は2001年4月より9ヶ月、岡山市から公費留学研修生として中華人民共和国河南省洛陽市に派遣していただきました。当初の予定では、内陸部である洛陽市の児童教育の現状や、一人っ子政策による戸籍に登録されない子供達のことについて調べようと考えておりました。

しかし、研修生として洛陽市で生活し、地元メディア、友人、地域の人々との交流を深めていく過程で、それより更に根深い問題、つまり「過度の反日教育」の実態を岡山市の皆さんに伝えることが、より公費研修生としての意義があるのではないかと考えるようになりました。

では、「過度の反日教育」とは何か？それは明確なソースを示さない偏見に溢れたマスメディアの報道、既に偽作であることが明らかにされたはずの写真を大量に使用しての「歴史教育」、そして50数年前起こった戦争について、3000万人の「中国人」が日本兵によって殺害されたという中華人民共産党政府の公式見解一。例をあげればきりが無いほどです。

我々は中東世界におけるイスラエルとパレスチナの報復戦争を別世界のものとして見がちです。しかし自分たちのすぐ側に、「我々の同朋を日本に3000万人も殺されたのだ」という教育を小学生の頃から受け続けた、13億の人口を抱えた国がいることを認識すべき時期に来ているのではないのでしょうか。そうした中華人民共和国における「歴史教育」を正しい姿勢で批判し、正していくことは、我々と我々の後進の為でもあり、更には真の意味での「日中友好」を実現させることになるはずだと私は考えます。



左から2番目が渡邊さん

第13回 洛陽市技術研修生 来岡

第13回洛陽市技術研修生の2名が平成14年1月29日に来岡されました。両氏は1年間、岡山理科大学でそれぞれの専門分野の研究を行います。



楊 宏斌
(よう こうひん)

研修先：
岡山理科大学工学部機械システム工学科
研究希望分野：
機械製造及び自動化
コンピューター補助設計と製造
(CAD/CAM)
マシンツールデジタル制御技術
スパイラル錐歯車の設計と加工新技術
職 業：
洛陽工学院機械工学部 助教授



郭 跟成
(かく こんせい)

研修先：
岡山理科大学総合情報学部情報科学科
研究希望分野：
ソフトウェア工学及びオブジェクト指向技術
データベース応用技術
職 業：
洛陽工学院コンピュータ科学・工
学部講師

第10回 岡山市技術研修生 洛陽市へ派遣

第10回岡山市技術研修生が、下記2名の方に決定されました。2名は平成14年4月から1年間、洛陽市で中国書道の技術を修得されると共に、中国語の語学研修を受けられます。



おおた ともこ
太田 智子

所属：書道非常勤講師
抱負：研修生として選ばれ、とても嬉しい。一生懸命勉強していきます。



かんざき しょうへい
神崎 昌平

所属：仏教大学在学（4年）
抱負：書道をはじめとした様々な中国文化に直に触れ、多くの事を吸収し、日中の相互理解を深めていきたい。

岡山市・洛陽市友好都市締結20周年記念事業

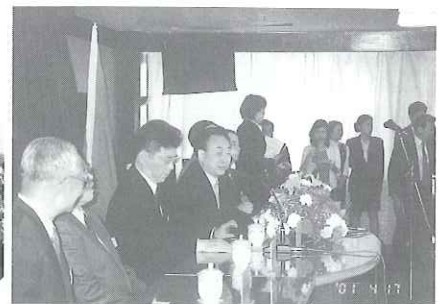
* 岡山市民友好訪中団派遣 * (平成13年4月17日～21日)



龍門石窟前での記念撮影



勇壮な獅子舞の歓迎を受ける訪中団



洛陽牡丹大酒店でのレセプション

洛陽市少年サッカーチーム訪日団来岡

(平成13年7月12日～17日)



岡山市長を表敬訪問

岡山市・洛陽市学生交流シンポジウム開催

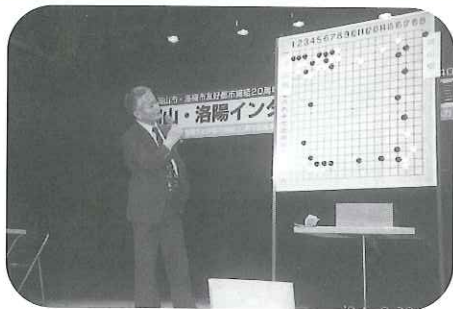
(平成13年8月5日)



会場（岡山大学）で熱心に討論する参加者

インターネット囲碁対局開催

(平成13年8月30日)



三丁目劇場での対局風景

洛陽市政府友好訪日団来日

(平成13年11月27日～12月6日)



郭俊民副市長を団長とする友好訪日団の岡山市長表敬



洛陽市政府友好訪日団歓迎レセプション

大中国展開催

(平成13年5月23日～29日)



絵画に見入る来場者



後樂園を散策する訪日団